

A: ねえ、聞いて。今日もまた学校の先生に怒られちゃったよ。

B: ええ？どうしたの？何があったの？

A: 今日さ、看護学校の実習で、注射打たなきゃいけないくて、失敗しまくり。注射ってホント苦手なんだよね。

B: そうだったの。わかるわ。わたしも、看護学校に通ってた時は注射苦手だったもの。今はもう助産師になって長いから、慣れっこだけどね。

A: へえ！助産師さんなんだ！ねえ、血とか怖くない？わたしの学校、千葉にあるんだけど、そこの友達は血が怖いから別の進路に変更したんだよ。

B: もう怖くないわ。だって、血を怖がってたなら、助産師の仕事なんて、全然務まらないもの。

A: そうだよなー。わたしも頑張らなくちゃなー。なんかコツとかあるのかな？

B: そうねえ、慣れかしら。あとは、頑張った自分にご褒美をあげたりね。わたしの場合は趣味のカラオケ。

A: カラオケ！趣味をやると、嫌いなものも克服できるってこと？わたしの場合はヨガなんだけど。

B: じゃあ注射や血を見ても怖がらなかった自分に、ヨガのイベント参加というご褒美をあげるなんていうのはどう？ちょうど、わたしの誕生日、ひな祭りの日に、ヨガのイベントがあるらしいわよ。

A: イベントかあ。それなら、わたしの誕生日はバレンタインデーなんだけど、月命日ならぬ月誕生日に、ゴディバのチョコを自分にプレゼントしようかな。

B: あ！それも良いんじゃない!? そうすれば、きっと、みるみるうちに、看護の実習も上達するわよ！

A: そうなるといいなー！いいアドバイスをありがとう！